

「海洋の空(人エラグーン)」による
淀川の河川浄化構想

2002. 3. 30.

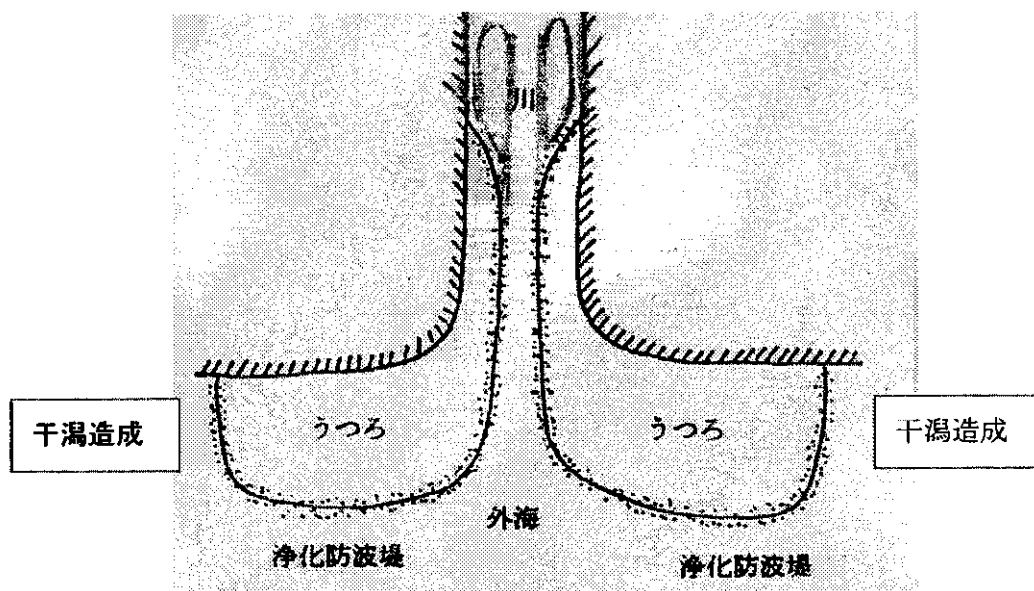
NGO「海洋の空」研究グループ

(akai@akai-f.co.jp)

「海洋の空(人工ラグーン)」による淀川河川浄化構想の概要

汚濁河川の浄化

海域汚染の殆どは河川の流入負荷によるもので、このような汚濁河川水を、波浪や潮汐、太陽光、地球の重力、生態の生命力等自然の莫大なエネルギーによって、汚濁河川水を浄化し、「海洋の空(人工ラグーン)」の生態循環の作用により水産資源に変換すると共に河口に潮流を発生させ、河口の維持浚渫を行うと共に、「海洋の空」の作用により計画的に沈降させ、干潟造成を図るものである。



「海洋の空(人工ラグーン)」による淀川河川浄化

(約400万トン/日浄化案)

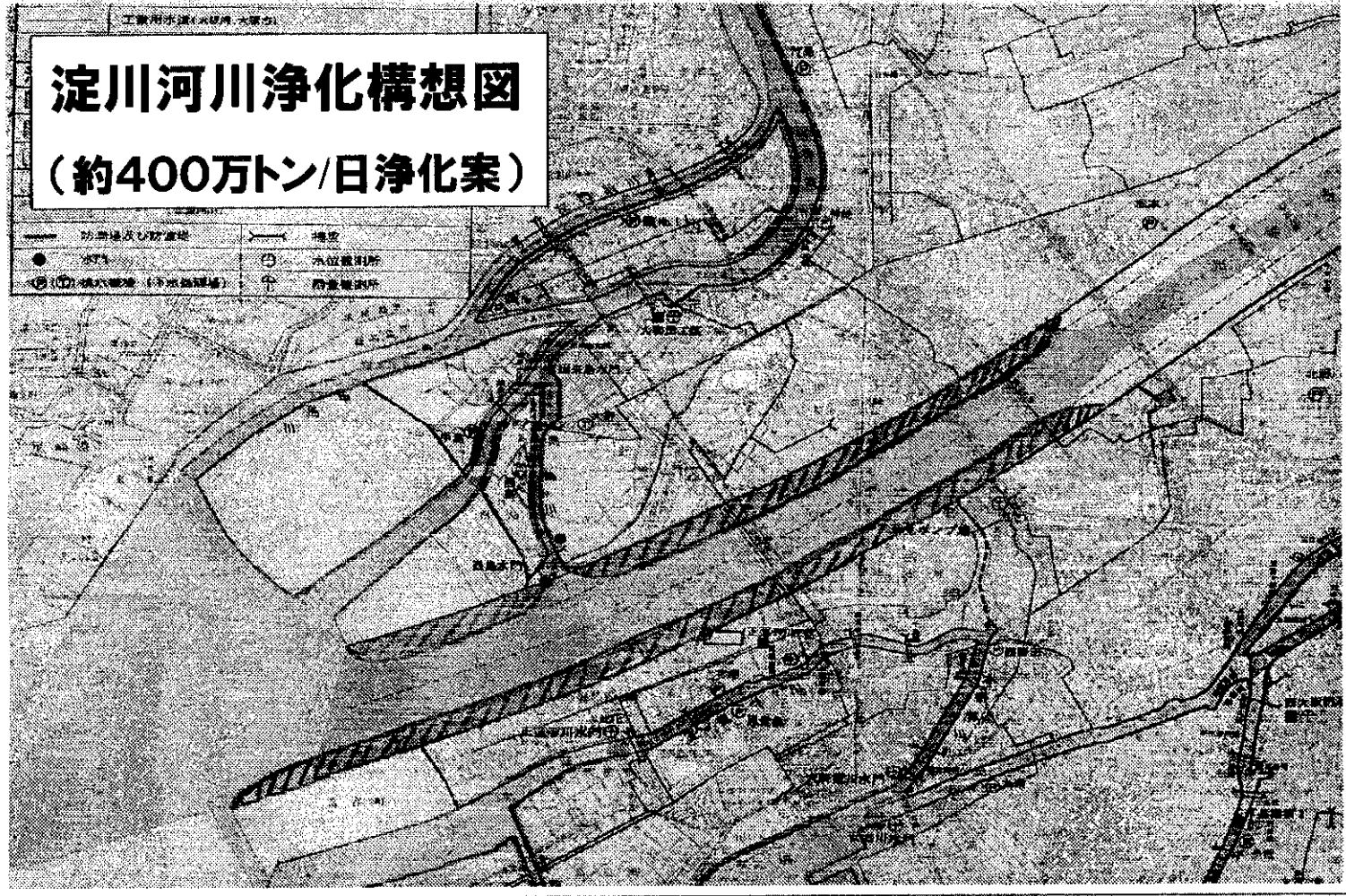
淀川河口部の両岸に約200万平方メートルの「海洋の空(人工ラグーン)」を設置して日量約400万トンの水を浄化しようとするものである。

(約800万トン/日浄化案)

淀川河口部の両岸及び、中島地先に合せて約400万平方メートルの「海洋の空(人工ラグーン)」を設置して日量約800万トン/日の淀川河口水を浄化する事が可能である。

淀川河川浄化構想図 (約400万トン/日浄化案)

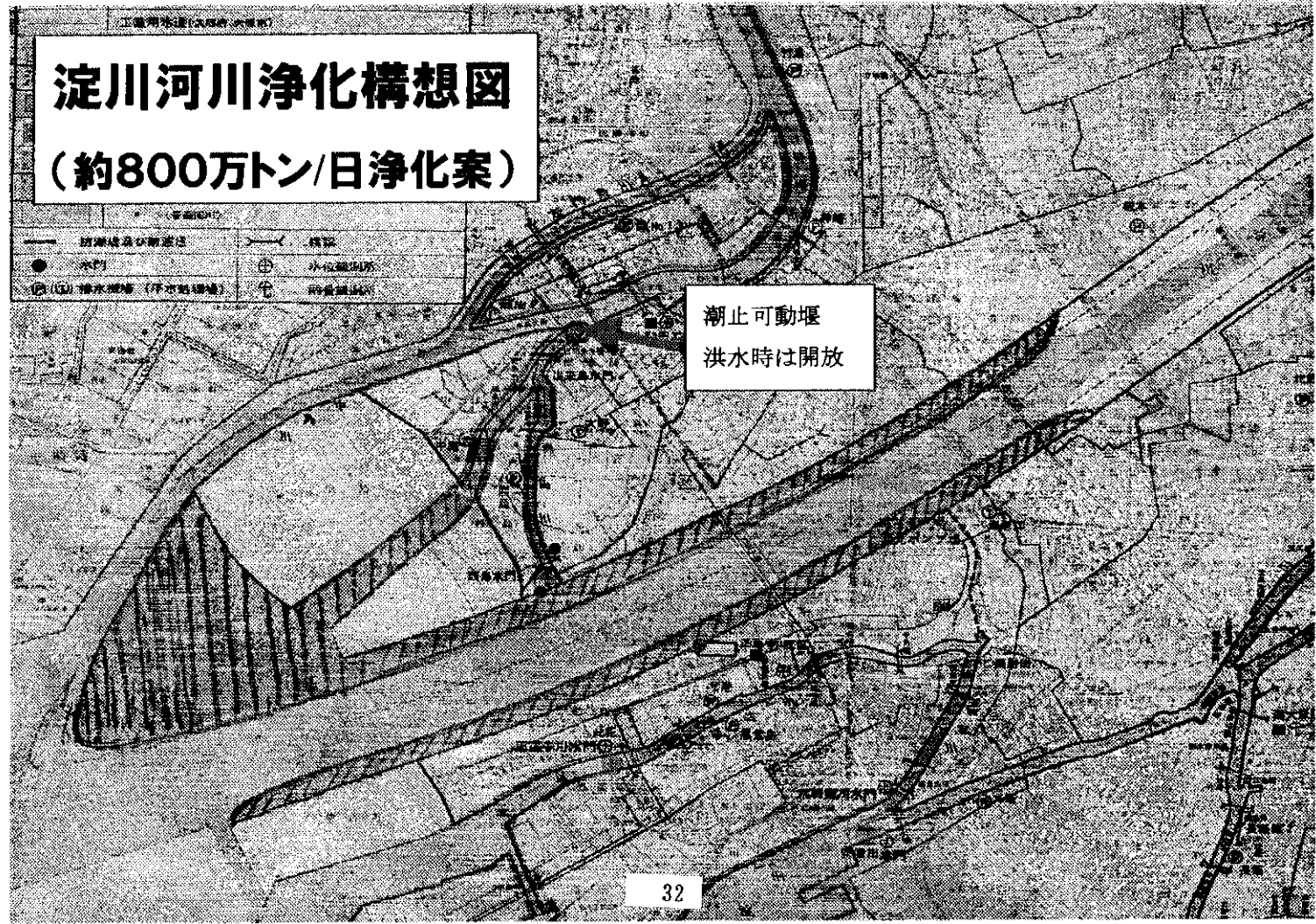
防濁堤及び貯留地	橋梁
水門	水位観測所
取水設備 (平水時稼働)	貯留観測所



淀川河川浄化構想図 (約800万トン/日浄化案)

防濁堤及び貯留地	橋梁
水門	水位観測所
取水設備 (平水時稼働)	貯留観測所

潮止可動堰
洪水時は開放



**「海洋の空(人エラグーン)」による
猪名川の河川浄化構想**

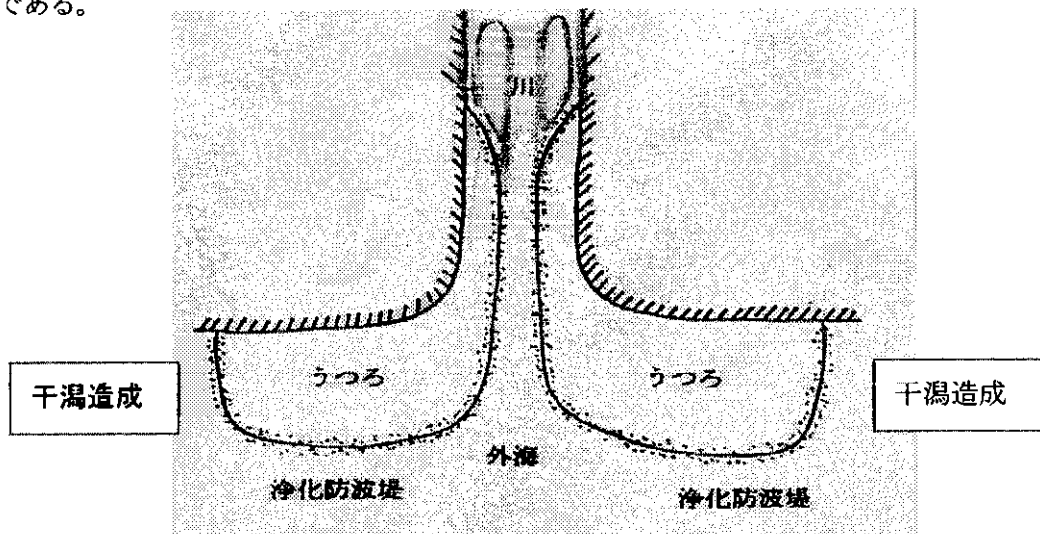
2002. 3. 30.

NGO「海洋の空」研究グループ
(akai@akai-f.co.jp)

「海洋の空(人工ラグーン)」による猪名川の浄化 と中島干潟(海水浴場)構想の概要

汚濁河川の浄化と干潟造成

海域汚染の殆どは河川の流入負荷によるもので、このような汚濁河川水を、波浪や潮汐、太陽光、地球の重力、生態の生命力等自然の莫大なエネルギーによって、汚濁河川水を浄化し、「海洋の空(人工ラグーン)」の生態循環の作用により水産資源に変換すると共に河口に潮流を発生させ、河口の維持浚渫を行うと共に、「海洋の空」の作用により計画的に沈降させ、干潟造成を図るものである。



「海洋の空(人工ラグーン)」による猪名川の浄化

(日量約200万トン/日浄化案)

猪名川河口部の中島地先に約100万平方メートルの「海洋の空(人工ラグーン)」を設置して日量約200万トンの水を浄化しようとするものである。

(約800万トン/日浄化案)

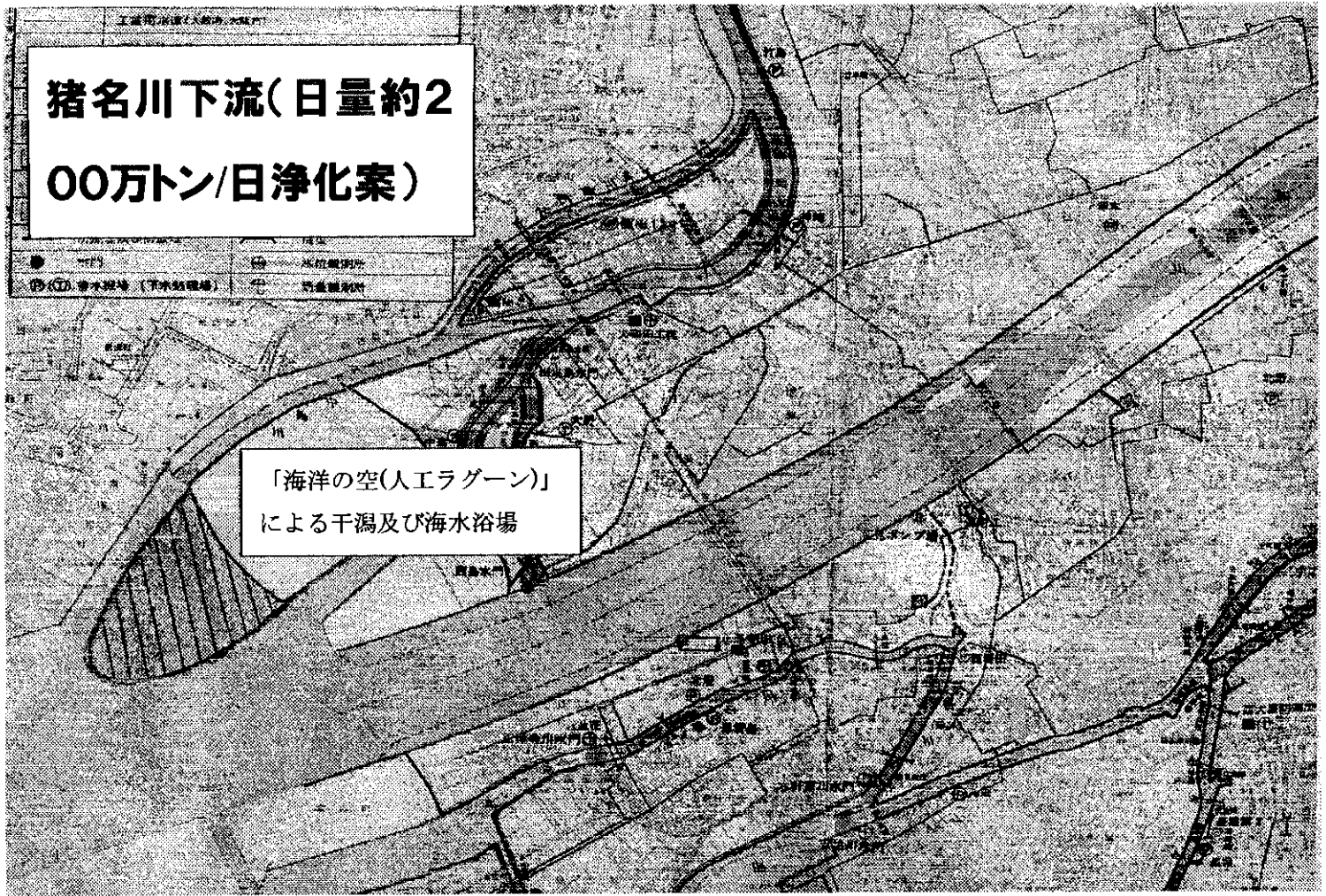
淀川水系河口部の両岸及び、中島地先に合計約400万平方メートルの「海洋の空(人工ラグーン)」を設置して日量約800万トン/日の淀川河口水を浄化するものである。

さらに、猪名川の洪水直後の満潮時に計画的に淀川右岸の浄化堤約8~10kmの内側に防水シートを布設して一時不透過性の「海洋の空」とする事により、神崎河下流(中島川)に潮位面下で平均流量200トン/sec(ピーク時約300トン/sec)程度の潮流を発生させ、河口の維持浚渫が可能となる。

猪名川下流(日量約200万トン/日浄化案)

●	水門	○	水質観測所
◎	排水機場 (下水処理場)	⊕	高差観測所

「海洋の空(人工ラグーン)」
による干潟及び海水浴場



淀川水系河川浄化構想図 (約800万トン/日浄化案)

—	防砂堤及び崩落防止	→	橋梁
●	水門	○	水質観測所
◎	排水機場 (下水処理場)	⊕	高差観測所

潮止可動堰
洪水時は開放

「海洋の空(人工ラグーン)」
による干潟及び海水浴場

